

生産設備改善によるコスト削減

アドバンスコース

企業競争に勝ち抜いていくには製品原価の低減は不可欠となっています。その中で、ものづくり現場でのコスト削減はこの原価低減には大変重要となっています。

コスト削減のための改善は内容によっては設備投資が必要となるのが多くあります。しかし、設備投資を行っても、投資に見合う利益が得られなければ返って損失となってコストをアップさせてしまいます。

ここでは、ものづくり現場での改善のテーマの見つけ方、設備投資の方法などを解りやすく解説します。

対象 ものづくり現場の管理者、
リーダー(中核人材)の皆様
経験年数10年程度以上

定員 20名

時間 13:30~16:30 3時間

日程 平成27年10月15日(木)

会場 岐阜工業高等専門学校
図書館 多目的ホール

プログラム

1. 生産コストとは

- 1 製品原価の構成
- 2 生産現場でのコスト削減

2. 生産改善の進め方

- 1 改善の手順
- 2 改善を進めるに当たっての注意点

3. 設備投資による改善を進めるには

- 1 改善が決まったら設備投資額の見積もり
- 2 投資による利益・不利益の検討
- 3 減価償却の見方
- 4 投資の回収
- 5 加工費の低減以外の改善

研修後のフォローアップ

・研修終了後に無料相談を承ります。

・また、ご希望により「逆スクーリング」を実施します。講師が受講者の現場にうかがい、直接指導を行います。(有料)

講師紹介

向井 軸郎

大手電機会社において、長年に渡り生産技術業務を担当し、製造現場での生産方式の改善、合理化投資などを経験。生産技術部門、環境部門の責任者として技術分野の実務の経験と知識は幅広いものがある。講座では豊富な知識と経験から解りやすく解説することで好評を得ている。